



**答申書を市長に提出
三好市行財政改革推進委員会**

第8次三好市行財政改革推進委員会（会長 高畑 敏行氏 外5名）から、三好市行財政改革についての「答申書」が、4月13日に黒川市長に提出されました。

答申書には、財政健全化、行政組織、職員の定員管理、人事評価・人材育成、アウトソーシング、地方公営企業について、6項目の具体的な方策が示されています。

市では、この「答申書」を踏まえ、2022年度からの「三好市行財政改革実施計画」を策定する予定です。



**密厳寺で牡丹あでやかに
100種 700株咲き誇る**

池田町西山の密厳寺の牡丹が4月10日頃から色鮮やかに咲き始め、地域の住民や多くの観光客が訪れました。

境内には大輪の花をつけた牡丹があでやかに咲き誇り、手水には牡丹が浮かべられていました。昨年は4月に降った雪の重みで蕾をつけた多くの枝が折れてしまいましたが、今年は暖かい日が続いたこともあり、昨年より1週間ほど早く見頃を迎えました。

訪れた参拝客らは、写真を撮ったり一輪一輪香りを確かめたりしながら、優雅な牡丹の花を楽しんでいました。



**市内の職場に若い力
新規学卒就職者歓迎式**

三好市内の事業所に就職した若者を激励する三好市新規学卒就職者歓迎式が、4月16日、三好市と三好市商工会および阿波池田商工会議所の主催で開催されました。

今年はウェブ開催となりましたが、市内10事業所14人のうち7名の就職者が出席しました。

新規学卒者を代表しお礼の言葉を述べたホテルかずら橋の鳴石大輝さんからは「仕事を通じ、たくさんのお客様をお迎えられる日を夢見て精進してまいります」と決意を語ってくれました。



**笑顔でつないだ希望の聖火
四国の聖火リレー 三好市からスタート**

3月25日に福島県をスタートした聖火が、ここ徳島県三好市に到着し、4月15日、東京2020オリンピック聖火リレー出発式が箸蔵山ロープウェイ登山口駅で行われました。

出発式では三好市観光連と西部阿波おどり観光協会による阿波おどりのあと、第1走者である地元三好市の千葉結那さんが持つトーチへの聖火点火が行われました。

千葉さんがスタートしたあと、第2走者である県内最高齢(92歳)の中石麻子さんへトーチキスで聖火をつなぎました。

その後は2日間かけて185名のランナーにより県内を駆け抜け、徳島県を出発した後は日本各地のランナーに引き継がれ、7月23日に開会式が行われる予定のオリンピックスタジアム（新国立競技場）へと繋がっていきます。



①トーチへの聖火点火 ②聖火が灯ったランタンを市長が持って登場 ③ウェルカムプログラムの阿波おどり ④応援をする地元の小学生 ⑤第1走者と第2走者のトーチキス



100歳おめでとうございます



山口 イソノさん（山城町大川持）

4月7日、山城町の山口イソノさんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状などが贈られました。

イソノさんは、葉たばこやお茶などの農業を若い頃から営んでこられました。現在は老人ホームに入所されていますが、以前はゲートボール、大正琴や手芸などを通じ、地域の方々と盛んに交流をされていたそうです。これからもどうぞお元気で過ごしてください。

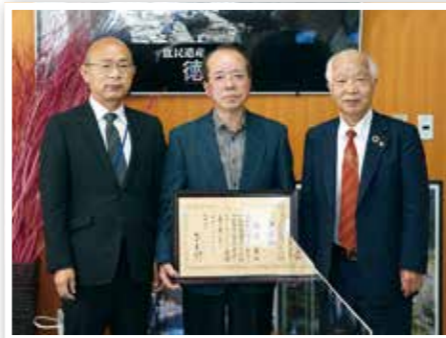


長谷 キク子さん（井川町井内西）

4月11日、井川町の長谷キク子さんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状などが贈られました。

キク子さんは、若い頃はミシンを使って外国へ輸出する絨毯などを作っていたそうで、裁縫のほか、ご詠歌や旅行が趣味だそうです。

コロナ禍で4人の子供さんとも会っていませんが、オンラインで対面しているそうです。これからもどうぞお元気で過ごしてください。



総務大臣から感謝状

藤堂 薫さん（西祖谷山村一宇）

平成29年度より西祖谷地区を担当区域に総務省行政相談委員としてご活躍いただきました藤堂 薫さんが、2期4年の委嘱期間満了をもって退任されました。

このほど、永きにわたり行政相談委員業務に尽力されたことに対し、総務大臣感謝状が徳島行政監視行政相談センター所長より手渡されました。

藤堂さんは、その豊かな経験と知見を活かし、行政等に関する相談や苦情の解決に寄与されました。

おめでとうございます。